

圧倒的なデータ量に基づく詳しい説明。
刑事司法の全体が分かる最良の書。



～過去10年間の特集テーマ～

- 平成14年 暴力的色彩の強い犯罪の現状と動向
- 15年 変貌する凶悪犯罪とその対策
- 16年 犯罪者の処遇
- 17年 少年非行
- 18年 刑事政策の新たな潮流
- 19年 再犯者の実態と対策
- 20年 高齢者犯罪の実態と処遇
- 21年 再犯防止施策の充実
- 22年 重大事犯者の実態と処遇
- 23年 少年・若年犯罪者の実態と再犯防止

豊富な図表で分かりやすく解説。
時代をとらえた特集。

こんな使い方もあります

- 裁判員に選ばれるためのために
裁判員になるまで、なってからの流れが分かる
これまでの裁判員裁判の結果が分かる
刑務所での生活や保護観察の内容が分かる
- 刑事司法や刑事政策に関する論文作成の参考文献として
- 総合学習や社会見学の参考資料として

もっと詳しく内容を知りたい方は
犯罪白書をご覧ください。

- 書籍版（より詳しいデータ所蔵のCD-ROM付）
- 電子版（法務省ホームページに掲載）
全文（昭和35年版～）と概要（平成11年版～）
- English version ("White Paper on Crime")
Editions 2000- http://hakusyo1.moj.go.jp/en/nendo_nfm.html



日本の治安の実際を知る。 日本の刑事政策を考える。



犯罪白書って何？

A 犯罪の発生から検挙、裁判、そして、罪を犯した人の社会復帰までの全過程を統計データや資料をもとに解説します。



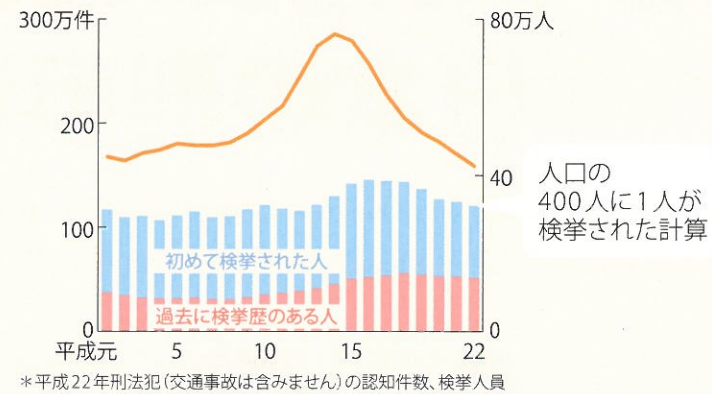
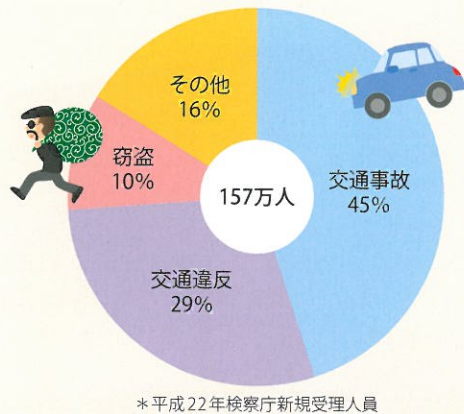
誰が何のために作っているの？



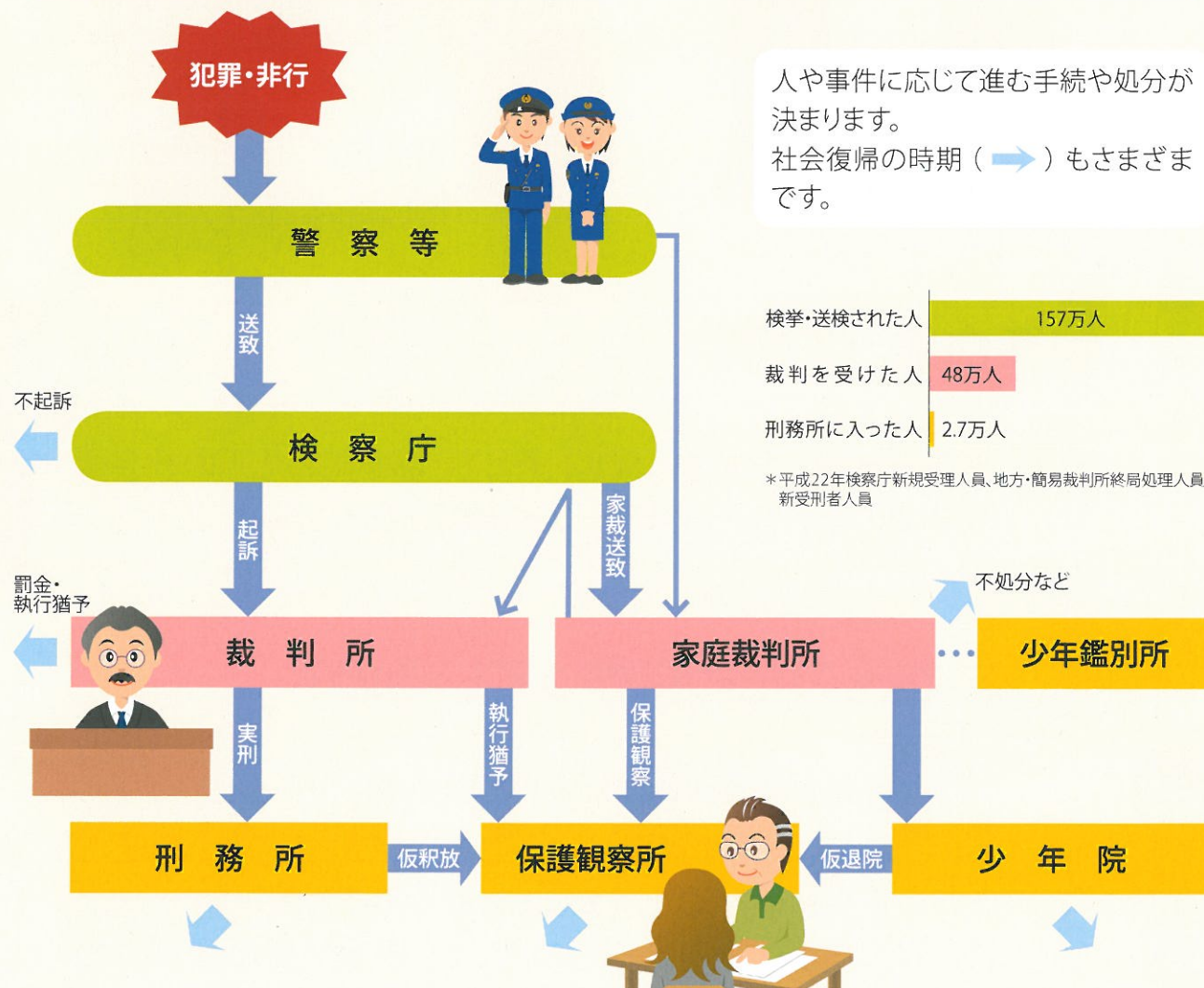
A 法務省法務総合研究所が毎年発刊しています。
どんな犯罪が増えている？ 刑務所に入った人がどのくらい更生した？ などを知ることから犯罪対策は始まります。そうした疑問に答えるものとして、安全・安心な社会づくりに役立てていただきたいと思います。

事件の数

検察庁では、1年間で157万人の事件を扱います*。
そのうち4分の3は交通事故・違反です。
次に多いのは窃盗です。

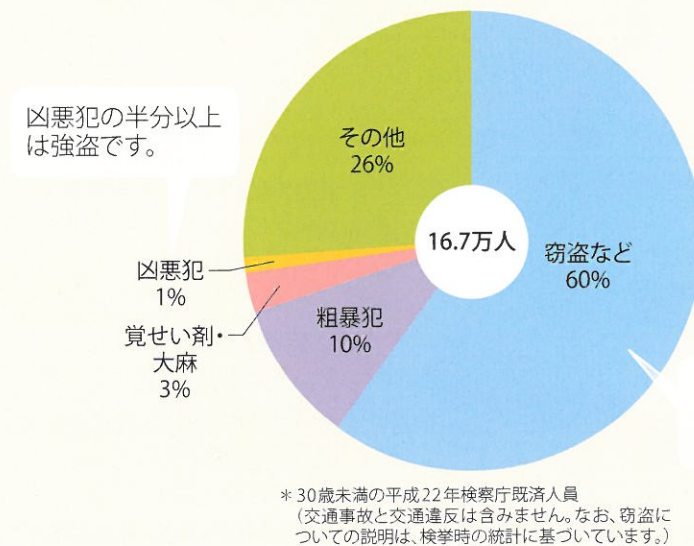


事件発生から罪を犯した人の社会復帰まで

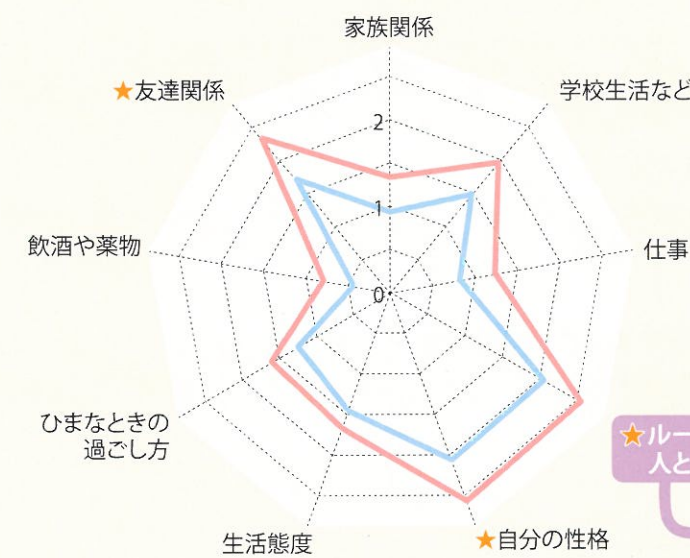


青少年の非行・犯罪 —平成23年版の特集から—

どんな非行・犯罪が多いの？



なぜ非行・犯罪に走ったの？ どこに問題があったの？ —— 本人に聞いてみました ——



* 非行や犯罪の原因・背景となる9問題領域×6項目について、「あてはまると思う」の回答数を問題領域ごとに集計し、その平均値を出した。

★をつけた3つの点数が特に高いことから、自分の考え方や人との関わりに問題があると感じている人が多いことが分かります。

少年鑑別所、刑務所にいる30歳未満の人(1,102人)に対する意識調査結果*

— は全員、— はそのうち過去に少年院に入っていたことがある人

★ルールを守る気持ちや人との関わり方

